

令和4年度
阪南市外部評価委員会
報告書

令和4年9月

阪南市外部評価委員会

1. 答申書の提出にあたって

阪南市外部評価委員会は、評価視点の多角化により行政評価の客観性を向上し、総合計画の実効性を高めるため、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき設置された。具体的には、総合計画に掲げられた施策に関する内部評価を検証することが主な役割である。

令和 4 年度は、7 月 4 日（月）に市長の諮問を受け、令和 3 年度の内部評価結果について検証するために、計 5 回の委員会を開催した。委員会では、外部評価の対象とする 6 施策を選定したのち、評価対象とした施策に関する担当課へのヒアリングを実施し、評価シートとヒアリングの内容を踏まえた審議を行った。

審議の結果、総合計画で掲げた目標の達成に向けて、まだ解決すべき課題が残っている施策については、『★1.5（「★★：施策のめざす姿に近づいている」にやや足りない「★：施策のめざす姿にやや近づいている」）』という区分を設けるとともに、重要な課題があり、迅速な対応が必要である施策、これまで以上に積極的に具体的な活動に取り組む必要がある施策については、外部評価の判定区分を「－：施策のめざす姿に近づいていない」とした。

今も続く新型コロナウイルス感染症は、今回外部評価の対象とした施策の実施にも大きく影響を及ぼしていた。感染症に限らず外部環境に大きな変化があった場合に備え、事業立案時に実施方法の代替案を検討しておくこと、実施時の状況に応じて柔軟に対応することの大切さを指摘しておきたい。また、施策の目的を達成するために庁内各部署がこれまで以上に協力・連携することも重要であると考えている。

外部評価の判定については、評価シートの記載やヒアリングの結果を受けて、委員一人ひとりが深く検討し、委員会での議論を重ねた結果であることから、この答申が総合計画に掲げた将来の都市像の実現に向け、今後の施策の実施に十分に活用されることを期待したい。

令和 4 年 9 月 8 日
阪南市外部評価委員会

2. 答申（対象施策の評価結果）

施策名 (施策コード)	持続可能な財政運営 (703)	内部評価	★	外部評価	★
判定理由	<p>「行財政構造改革プラン改訂版」を策定し、「財政非常事態宣言」の解除に向けた具体的な取組をスタートさせたことに加え、ふるさと納税について、返礼品の追加やプロモーションなど広く寄附を集める取組が行われ、その結果が成果につながっていることが評価できる。</p> <p>令和3年度の財政状況については、黒字の見込みではあるものの、その要因はふるさと納税の増加やコロナ禍による医療費の抑制など、将来的に持続性が見込めないものである。「財政非常事態宣言」解除に向けては、引き続き「行財政構造改革プラン改訂版」に掲げた取組のより着実な推進が求められる。</p> <p>また、より多くの市民に「行財政構造改革プラン改訂版」について関心・理解・協力を得るための取組や、有料広告の募集にかかる企業等への積極的な情報発信や働きかけ、新たな財源の確保に向けた取組などが十分とは言えない。</p> <p>以上から、内部評価と同じく、「★：施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p>				
委員提案 (令和5年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・「財政非常事態宣言」の早期解除に向けて、「行財政構造改革プラン改訂版」について、市民に関心・理解・協力を得るため、「行財政構造改革プラン改訂版」の内容や進捗状況などを含めて市民にわかりやすく広く周知されたい。 ・事業の必要性を一層精査してゼロベースでの予算編成に努められたい。 ・今後の制度変更等を見据え、ふるさと納税に頼りすぎない財政運営とするために、庁内全体で移住定住の促進や企業誘致、多様な手法による新たな財源の確保に努められたい。 ・税負担の公平性の確保や納税者の信頼に基づく市政運営の観点から、滞納整理を強化して市税徴収率の向上に努められたい。 				

施策名 (施策コード)	都市基盤の維持管理 (607)	内部評価	★	外部評価	★
判定理由	<p>道路等の施設については限られた予算の中で計画に沿って維持管理されていることに加え、道路や橋梁をはじめ公園等の施設更新については、将来を見据え、維持管理コストを抑えるため、長寿命化計画を策定し、財政状況を勘案した上で優先順位を付けて計画的に進められている。</p> <p>しかし、すべての成果指標が令和3年度の目標値を達成できていないことから、目標の達成に向けた各事業の改善・見直しが必要である。</p> <p>とくに橋梁については、災害リスクの軽減など、市民が安全安心して生活できるまちであるためにも、健全度の判定結果を踏まえ、できる限り早期の対応・更新が必要であると考えます。</p> <p>また、アダプトプログラム認定団体については、高齢化により市民活動団体の要件を満たさない理由で減少していることから、活動の対象を市民活動団体だけではなく、社会貢献に意欲・関心がある市外を含めた企業や学生等が参加できる仕組みなど、新しい団体の立ち上げや加入促進に向けた方策の検討が必要である。</p> <p>以上から、内部評価と同じく、「★：施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p>				
委員提案 (令和5年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少を踏まえ、維持管理コストを抑えるため、橋梁などの公共施設の集約化や整理を検討されたい。 ・アダプトプログラムについては、活動を通じて、地域コミュニティの活性化につながる取組も期待できることから、地域コミュニティを担当する部署との連携を行うとともに、市外を含めた企業や学生等への働きかけを検討されたい。 ・公園については維持管理だけではなく、さらなる利用促進に向けた普及活動に努められたい。 				

施策名 (施策コード)	生涯学習の推進 (403)	内部評価	★★	外部評価	★1.5
判定理由	<p>市民の生涯学習の推進に向けて、コロナ禍においてもさまざまな事業で試行錯誤しながら前向きに進めていることを確認することができた。とくに、公民館運営について、指定管理者制度の導入により、民間のノウハウを活用して、直営とは異なる視点で市民の学習ニーズを捉えた新しい講座を開催するなどの取組が進められたことは評価できる。</p> <p>しかしながら、コロナ禍により、多くの事業やイベントが中止もしくは縮小されたこともあって、すべての成果指標が令和3年度の目標値を達成できていないことに加えて、成果指標の目標値と実績値の乖離が一部大きいものがある。コロナ禍も3年目に突入していることから、事業やイベントについては計画段階からICTを活用した開催方法などの代替策の検討や事業手法の見直しの余地があったのではと考える。</p> <p>以上から、「★★：施策のめざす姿に近づいている」にやや足りない「★：施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p> <p>電子図書館については、導入して間もないことから、認知向上・利用促進に向けて、今後のさらなるPRを期待したい。</p> <p>また、文化センターと図書館について、令和5年度から指定管理者制度を導入することで、さらなる市民サービスの向上につながることを期待したい。</p>				
委員提案 (令和5年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナウイルスとの共生時代を見据え、指定管理者とも協力しながらICTを活用した学びの機会が提供できるよう取り組んでいただきたい。 ・ こども未来部にとどまらず健康福祉部をはじめとした他部署との連携など、多くの人に公民館に来てもらうための取組を一層強化されたい。 ・ 指定管理者や他部署との連携により効果的に生涯学習の取組を進めることができるよう、担当職員のスキルアップにも力を入れていただきたい。 				

施策名 (施策コード)	農業の振興 (503)	内部評価	★	外部評価	—
判定理由	<p>阪南市の特色として、面積が小さい農地が点在しており農地の利用促進などが難しいこと、そのような状況においても大阪府やJ A、農地中間管理機構等と連携して遊休農地の解消や就農相談、農業用施設の維持管理、有害鳥獣の駆除、農空間の保全など、農業振興に向けてさまざまな取組を行ってきたことは理解する。</p> <p>しかしながら、すべての成果指標が令和3年度の目標値を達成できていないことに加えて、成果指標の目標値と実績値の乖離が大きく、また、令和3年度の実績値が平成27年度の基準値に達していない状況にある。とくに、成果指標「新規就農者数」については、総合計画後期基本計画期間の5年間で全く実績がない状況でもある。</p> <p>また、施策のめざす姿の実現に向けて、阪南ブランドの定着や農業生産者の担い手確保、遊休農地の解消などのための取組がこれまでどのように見直し・改善されてきたかが不明確である。さらに、成果が上がらない状況が続いている中で、先導的な取組である「自治体SDGsモデル事業」の選定に向けた取組以外には、これまでの事業を見直すといった方向性も確認することができなかった。</p> <p>以上から、「—：施策のめざす姿に近づいていない」と判断した。</p> <p>施策のめざす姿の実現に向けては、令和4年度からの「自治体SDGsモデル事業」以外にも前向きに取り組まれることを期待する。</p>				
委員提案 (令和5年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標や施策のめざす姿の実現に向けて、地場製品のブランド力や情報発信の強化に努め、阪南ブランドの定着や農業生産者の担い手確保、遊休農地の解消などに具体的な方策を検討されたい。 				

施策名 (施策コード)	子育て支援の充実 (205)	内部評価	★★	外部評価	★1.5
<p>判定理由</p>	<p>施策のめざす姿の実現に向けて、財政状況を踏まえたさまざまな事業を実施し、とくにファミリー・サポート・センターや子どもの居場所事業など、関係者と連携して前向きに取り組まれていることは評価できる。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいことは理解するが、成果指標については目標値を達成できていないものがある。</p> <p>また、厳しい財政状況においても、施策のめざす姿である「安心して産み育てたいまち」とするためには、必要な人員の確保はもちろん、さらなる環境整備や事業の充実が必要と考える。</p> <p>以上から、「★★：施策のめざす姿に近づいている」にやや足りない「★：施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p> <p>令和4年度から、地域子育て支援センター事業とファミリー・サポート・センター事業を「阪南市地域子育て支援事業」として、一体的に委託実施することから、地域の子育て支援機能のより一層の充実が図られることを期待したい。</p>				
<p>委員提案 (令和5年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安心して産み育てたいまちとなるよう、子育て支援を充実することは、移住・定住にもつながるものである。子育て世代に選んで住んでもらえるように、他市事例を参考の上、関係課と連携して市全体で検討されたい。 				

施策名 (施策コード)	介護保険の健全な運営 (206)	内部評価	★★	外部評価	★1.5
判定理由	<p>施策のめざす姿の実現に向けてさまざまな事業を実施し、とくに新型コロナウイルス感染症の影響がある中においても、成果指標が概ね達成（介護予防教室参加者数は目標値を達成できていないものの、前年度から増加している）できていることに加え、身近な地域（日常生活圏域）に介護予防事業を展開するために共生型の介護予防拠点を市内4カ所に整備されていることや、業務効率を図るための事務のオンライン化、介護保険料の収納率向上や市民の利便性向上としてコンビニ収納を新たに導入するなど、前向きに取り組んでいることは評価できる。</p> <p>一方で、介護予防拠点については、高齢者の参加がメインとなっており、説明されているような障がい者や子ども等の多世代を含めた地域住民と交流できる「共生型」とするには関係課と連携して取り組む必要がある。</p> <p>また、要介護（支援）認定の申請から認定にかかる時間の短縮（主治医の意見書の遅延による）や介護保険料の収納率向上に向けては、さらなる見直しを検討する必要がある。</p> <p>以上から、「★★：施策のめざす姿に近づいている」にやや足りない「★：施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p> <p>アウトリーチ型の地域に向けた介護予防啓発については、令和4年度から生涯学習部との連携を図るとされていることから今後に期待したい。</p>				
委員提案 (令和5年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防拠点については、掲げている目的（「共生型」）が達成できるように関係課と連携して取り組まれない。 ・介護予防教室参加者数については、成果指標の目標値の達成に向けて更なる周知徹底に取り組まれない。 ・介護保険料については、被保険者間の負担の公平性と被保険者の信頼に基づく市政運営、介護保険事業の健全な財政運営を図る観点から、収納率の向上に努められない。 				

3. 阪南市の行政評価制度について

行政評価制度に関する職員の理解は一定程度深まってきていると考えられる。今年度の外部評価の結果を全庁で共有し、施策の展開に反映させていただきたい。

今後、より一層精度と効果の高い行政評価制度とするために、評価の仕組み全体について改善すべき点は以下のとおりである。

ここで指摘した事項にどのように対応したかについては、次年度の内部評価実施前に報告していただきたい。

① 外部評価の実施に関して

ヒアリングの施策件数については、ヒアリングのスケジュールやヒアリング時間などを踏まえると6施策が概ね妥当であると考ええる。

なお、ヒアリング方法については、施策の達成状況等の理解を一層深めるための手段として、関係施設等の現地ヒアリングを行うことも一度検討いただきたい。

加えて、外部評価委員会の傍聴者を増やすために、一層のPRに努められたい。

② 評価シートの構成に関して

本来施策評価は、施策のめざす姿を踏まえて、当該年度にどのような取組方針を作成し、取組方針を受けて施策をいかに実現し、どのような効果があったかをPDCAサイクルに沿って検証するものであり、評価シートはそれができる構成となっている。自己評価を実施する際には、評価シートとその構成の意図を十分に理解、意識していただきたい。

また、今年度、施策ごとに事務事業の事業費を追記いただき、施策全体のコストが把握できるようになったが、施策に関わっている職員数を把握できるようさらなる施策シートの見直しを検討いただきたい。

4. 令和4年度 阪南市外部評価委員会開催日程

開催日時等	委員会の議事
第1回 7/4(月)18:00～ (会場) 3階全員協議会室	①市長挨拶 ②委員紹介 ③市長から委員長へ諮問 ④外部評価実施要領(案) ⑤評価対象施策の選定 ⑥質問票の配布
第2回 7/25(月)18:00～ (会場) 3階全員協議会室	①ヒアリング ②判定区分等について協議
第3回 8/4(木)18:00～ (会場) 3階全員協議会室	①ヒアリング ②判定区分等について協議
第4回 8/8(月)18:00～ (会場) 3階全員協議会室	①ヒアリング ②判定区分等について協議
第5回 8/18(木)18:00～ (会場) 3階全員協議会室	①外部評価のとりまとめ ・判定区分・判定理由 ・委員長の総括 ②会議録の確認依頼

【阪南市外部評価委員 *五十音順】

氏名(敬称略)	区分	備考
掛谷 純子 (かけや じゅんこ)	学識経験のある者	副委員長
小坂 義(こざか ただし)	市民	
寺田 雄揮 (てらだ ゆうき)	市民	
壬生 裕子 (みぶ ひろこ)	学識経験のある者	委員長
宮崎 博幸 (みやざき ひろゆき)	市民	